学年通信 45回生 第18号

マイナスを消すことで

~ S h i n ~

プラスだけが残る 7月20日

妥協せず後回しにしない

いよいよ3年生の夏が目前に迫ってきました。夏季休業でまとまった時間が取れるときは、得意科目を伸ばし、苦手科目を克服するチャンスです。事前にしっかりと学習計画を立て、時間の有効活用を心がけましょう。

夏季休業全体の学習計画を立てましょう。学習への取り組み方としては、自分の実力・弱点をきちんと把握し、周りに惑わされず、自分のペースで勉強する。模擬試験や定期考査の問題に再度取り組み、勉強の成果を確認する。

学習計画を立てる際には、夏の時期を、①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬の4つの時期に分けましょう。この時期に効率的に学習を行うためには、時期を区切って学習計画を立てることがポイントです。それぞれの時期に、「いつ」「何を」するべきか、優先順位をつけましょう。次に一日の予定を立てましょう。

普段の学校生活とは違うことで生活のリズムを崩す人がいます。生活のリズムを崩さないように 「生活の3点」と「学習開始時間」を固定しましょう。

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。食事の時間を固定してもいいかもしれません。これらの時間と学習開始時間を固定して、規則正しい生活を心がけましょう。

夏季休業はまとまった学習時間が取れるいい機会です。問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

また、夏季休業の初めには、三者面談が行われます。7月といえば、各大学の選抜要項が発表される時期です。第1志望校をはじめとして、受験する可能性のある大学に関しては、必ず確認しておきましょう。夏季休業の学習を実行するにあたり、また、学習計画を立案するにあたり、必ず押さえておくべきポイントになります。

夏を乗りきるため、第1志望校を認識する機会として、是非「選抜要項の確認」をしてください。ご家庭でも進路についてじっくり話をし、具体的に受験校をどうするのか。受験の方法や出願数なども話しておくことも大切です。そして、受験や進学にはお金のことも話しておくことも大切になってきます。この機会にぜひ話をしておいて下さい。

最後の球技大会



7月13日(木)、球技大会では、男子:サッカー・バレーボール 女子:アルティメット・バレーボールをクラス対抗で行いました。天気予報は雨の予報で朝も雨が降っており、できるかどうか際どい感じでした。それでも、ほとんど雨が降ることなく実施することができました。球技大会では、大半の生徒は部活動が引退し、体育の授業以外では体を動かす機会が減っている中、楽しく一生懸命プレーしていました。準備も運営も運動部や体育委員が中心となって行っており、協力的でみんなで楽しめたのではないでしょうか。閉会式でも話しましたが、球技大会で、

クラス関係なく応援し、その応援でみんなが頑張れる雰囲気でした。受験に向けても、45回生みんなが声をかけあって頑張ってくれたらと思います。今後、体育大会しかクラスみんなで行う行事はないですが、みんなでいい声を掛け合い楽しんでほしいと思います。

結果は、

☆男子サッカー 優勝:5A組 準優勝:1A組 ☆男子バレーボール 優勝:3A組 準優勝:5A組 ☆女子アルティメット 優勝:1A組 準優勝:6B組 ☆女子バレーボール 優勝:6B組 準優勝:3 組 でした。



Team 45 のつぶやき 担当: 三宅 潤子

先日、書評誌を見ていたら、オックスフォード大学の入学面接試験が紹介されていました。皆さんも 息抜きに考えてみてください。

- ①箱A·B·Cがある。そのうち一つには爆弾が装着されている。各箱には次の文章が彫られている。 A この箱の中には爆弾があります。
 - B この箱は空です。
 - C これら三つの箱のうち、真実さんが作った箱は最大でも一つです。

爆弾の入っていない箱を開けましょう。

- ②箱D·Eがある。そのうち一つにはダイヤモンドが入っている。各箱には次の文章が彫られている。
 - D ダイヤモンドはこの箱には入っていません。
 - E これら二つの箱のうち一つは、真実さんが作りました。

ダイヤモンドが入っているのはどの箱でしょうか?

- ③箱F・Gがある。そのうち一つにはダイヤモンドが入っている。各箱には次の文章が彫られている。 F ダイヤモンドはこの箱には入っていません。
 - G これら二つの箱の文章のうち一つだけが真実です。

ダイヤモンドが入っているのはどの箱でしょうか?

なお、真実さんが言うこと・書くことはすべて真実で、嘘さんの言うこと・書くことはすべて偽りです。

①~③のうち、③にはいわゆる「正解」はありません。このような問によって、何を試したかったのでしょうか。出題者は、まず①②は論理的に推論することができるか。次に③は箱Fにダイヤモンドが入っていない可能性を想像できるか、そのような可能性を言葉で表現できるか、つまり、根本的な問題を察知することができるか、を試すことが目的であった、と解説しています。これが入試問題として適切なものなのかどうかはさておき、出題者の意図したことは、入試に限らず、これから必要とされる力であるように思われます。

昨年登場した生成 AI、ChatGPT が急激に普及しています。この対話型 AI は、文章を翻訳したり、数学の問題を解いたり、音楽や絵画を創作したりすることもできます。皆さんはこの便利そうな道具をどのように使いますか?この答のない問が今、世界中を駆け巡っています。この問は、「学ぶ」とはどういうことなのか、AI にはない人間の力とは何なのか、人間らしさとは何なのか、人間とは何なのか、という、かなり大きな問につながっていきます。これについて考える時、先ほどの入試問題で試されていた、自分の考えている推論は有効か、根本的な問題は何か、を自分の言葉で考え表現するということが必要となるのではないでしょうか。

答の見えない問に早急に取り組まなければならない事態が次々起こっています。Covid-19しかり、ChatGPT しかり。問を他人に委ねず、それに向き合う力を大切にしていくことが人間らしさなのかもしれません。皆さんは答の明らかではない問に対してどのように臨んでいきますか?

☆次は杉本先生です。

~今後の予定~

9月1日(金) 始業式・LHR・100 問テスト (英語) 共通テスト出願説明会 *放課後

3日(日) 第2回全統記述模試(校外)

15日(金) 進研模試マーク(一部) *授業終了後

16日(土) 進研模試マーク

27日(水)体育大会予行

29日(金)体育大会

